



環境経営レポート

三共自動車株式会社

2023 年度

(対象期間 2023 年10月1日～ 2024 年9月30日)



発行日： 2024年12月1日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	1
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10

人体への影響や臭気を大幅に低減し、
塗装環境を大きく改善する水性塗料の導入



RETAN WB ECO
EV
SYSTEM



ごあいさつ

三共自動車は、新車販売・車検整備・板金塗装・保険代理店事業・自動車リース事業・レンタカー事業・洗車場・ネットオークション事業とお客様のカーライフをトータルでサポートさせていただく、総合自動車サービス企業として、成長してまいりました。

これもステークホルダーの皆さまの温かいご支援があつてのことと心から感謝申し上げます。

今世界では、環境の時代と言われています。それは、より快適性を追求しながらも人と自然が高度に調和する世界。これからの地球環境を考えれば、環境への負担を軽減するクルマ社会への変革は、国際的にも最重要のテーマの一つとして捉えられています。三共自動車は社会と地球環境を結びつけるお手伝いをしていきたいと考えています。

環境に対する社会的使命を常に感じ、社会に存在価値のある事業展開をおこない、人にも地球にも優しい『次世代志向企業』を目指してまいります。

環境経営方針

三共自動車は自動車業のオールマイティー体制を推進し、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。人にも地球にも優しく、皆さまから信頼される企業であるために、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギー等により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制、分別処理に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 化学物質の適正管理と使用に努めます。
6. 環境に配慮した事業を展開し、お客様にご提案します。
7. 環境経営の継続的改善取り組みを実施します。



制定日：2017年8月21日

改定日：2023年10月1日

代表取締役社長 岡田 正昭

組 織 の 概 要

(1) 名称及び代表者名

三共自動車株式会社
代表取締役社長 岡田 正昭

(2) 所在地

本社・工場 大阪市浪速区木津川1-6-6
マツダオートザム境川 大阪市西区境川1-4-31
芦原工場 大阪市浪速区芦原2-1-7
くるまーる西成 大阪市西成区南津守4-1-78
第一駐車場 大阪市浪速区木津川1-4-24
第二駐車場 大阪市浪速区木津川1-7-2

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 係長 渡邊 真一郎 TEL : 06-6568-3711

(4) 事業内容

新車販売・車検整備・板金塗装・保険代理店事業

(5) 事業の規模

売上高 13 億円

	本社・工場	MAZ境川	芦原工場	くるまーる西成	第一駐車場	第二駐車場	合 計
従業員 名	20	4	0	2	0	2	28名
延べ床面積 m ²	1,942	674	412	1,522	400	632	5,582m ²

(6) 事業年度

10 月 1 日 ～ 9 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 三共自動車株式会社
対象事業所 : 本社・工場 第一駐車場
マツダオートザム境川 第二駐車場
芦原工場
くるまーる西成

対象外 : なし
活動 : 新車販売・車検整備・板金塗装・保険代理店事業

□事業の紹介

新車販売: マツダオートザム境川



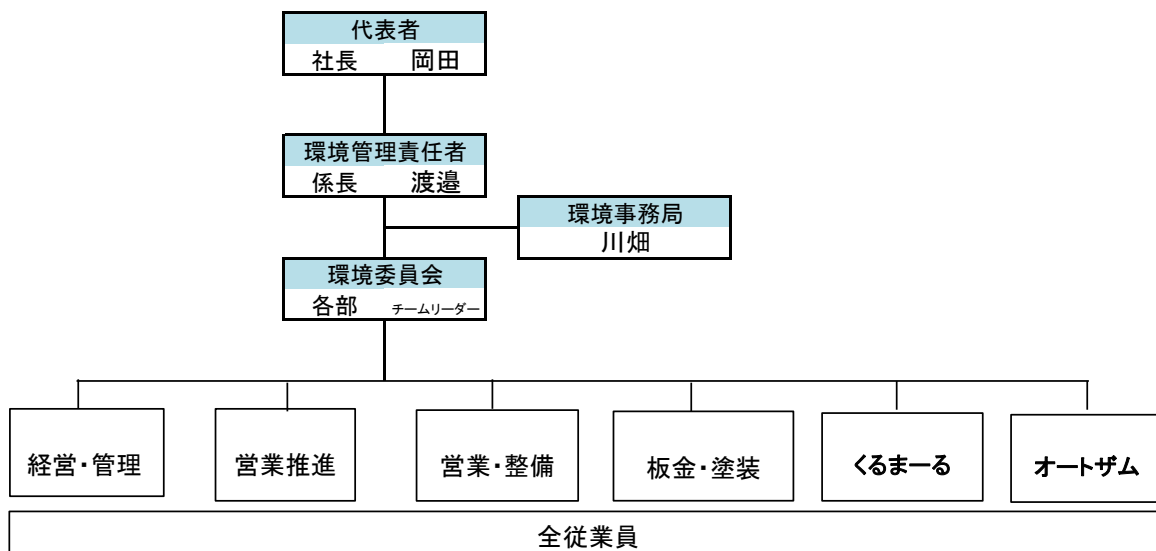
見て、試乗して、
あなたにとって最高の一台を。




エレガントで力強く、パワーみなぎる移動時間を
Fam Rent a Carと共に

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2023年10月1日



【役割・責任・権限】

	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者(社長)	環境経営方針を策定し、従業員に周知させる 環境管理責任者を任命する 環境経営目標、環境経営レポートを承認する エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直し・指示を実施する
環境管理責任者	エコアクション21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムの構築、実施、管理 実施・運用結果を社長に報告する EA21文書類の承認をする
環境管理担当者	EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する 環境への負荷の自己チェックを実施する 環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する 環境経営レポートの作と公開
環境委員会	自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う 社内外の環境情報の収集と伝達をする
部門長	環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知 自部門に関連する環境関連法規制等を順守する 自部門の教育・訓練を実施する 自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する

主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	164,719	165,077	130,007
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	k g	5,670	10,638	9,275
産業廃棄物排出量	k g	9,811	8,872	16,307
水使用量	m ³	4,274	4,599	4,808
※関西電力の調整後二酸化炭素排出係数		0.531	0.531	0.311
		2014年度	2014年度	2021年度

kg-CO₂/kWh (有価物を除く)

※上記に二酸化炭素総排出量には灯油使用分 2,366 kg-CO₂を含む。

環境経営目標及びその実績

項 目		年 度		2022年		2023年		評価	2024年	2025年
				(基準値)	(目標)	(実績)			(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kWh			126,540	125,275	123,182	○		124,009	122,744
	kg-CO ₂			67,193	66,521	38,310	○		65,849	65,177
	基準年度比				99%	57%			98%	97%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂			26,404	26,140	25,240	○		25,876	25,612
	基準年度比				99%	96%			98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂			72,580	71,854	64,093	○		71,128	70,402
	基準年度比				99%	88%			98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂			166,176	164,515	127,642	○		162,853	161,191
一般廃棄物の削減	kg			11,605	11,373	9,275	○		11,373	11,257
	活動期間									
	基準年度比				98%	80%			98%	97%
廃プラの削減	kg			2,309	2,285	2,133	○		2,262	2,239
	基準年度比				99%	92%			98%	97%
水道水の削減	m ³			4,599	4,553	4,808	×		4,507	4,461
	基準年度比				99%	105%			98%	97%
化学物質の適正管理	kg			362	—	362	—		—	—
	(実績化率)									
	基準年度比					100%				
代車のエコカー比率向上				30% 以上	30% 以上	62%	○		30% 以上	30% 以上

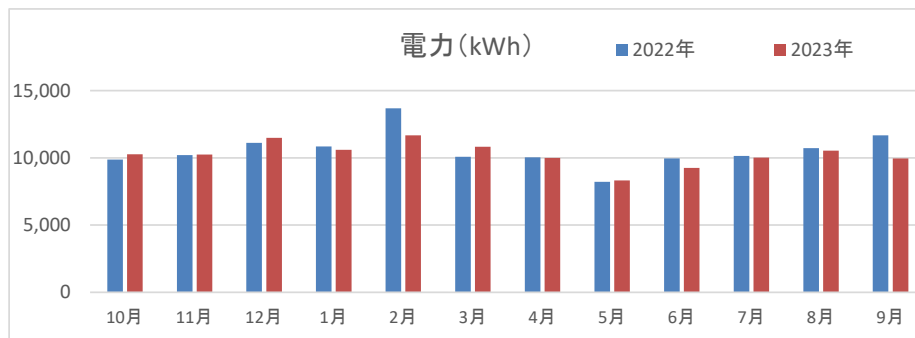
※化学物質（塗料・シンナー等）については削減数値目標は設定せず、実績を把握するとともに適正に管理する。

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標:○達成 ×未達成

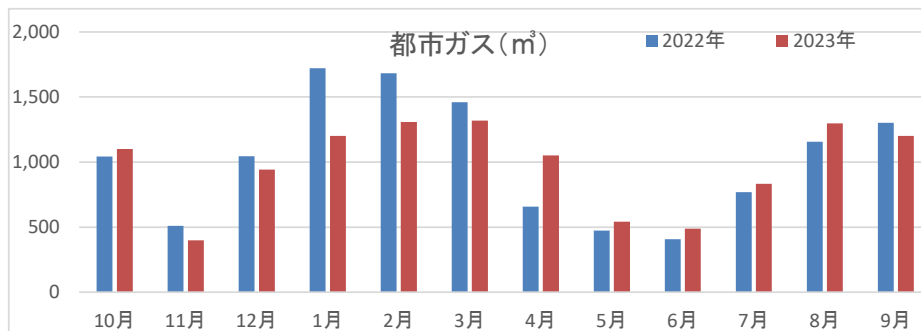
活動:○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標(kWh)	○	【目標達成】 昨年度は新型コロナウイルスが2023年5月に第五類に移行され、事故修理が増加。本年度については大手損保と中古車業者の不祥事により 板金、塗装修理が落ち込み、電力消費量も減少。 【次年度の計画】 目標達成手段を全社員が意識し徹底。
数値目標(kg-CO ₂)	○	
・不要照明の消灯	○	
・作業機械器具の手入れ	○	
・ノー残業デーの実施	△	
・空気圧縮機のアエア洩れ点検	○	



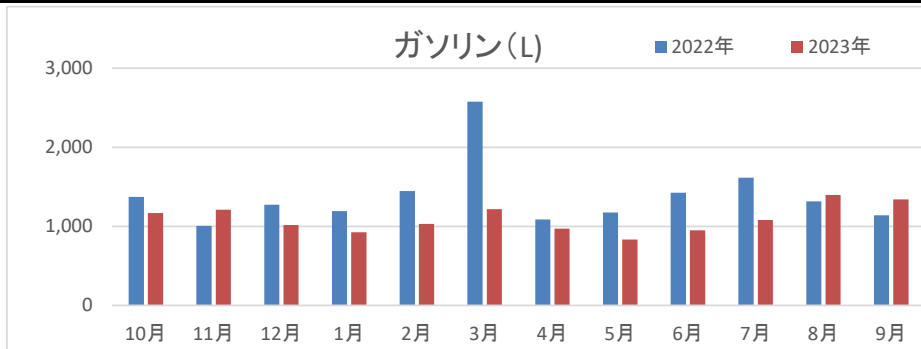
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	9,880	10,206	11,118	10,841	13,675	10,081	10,037	8,211	9,963	10,134	10,724	11,670
2023年	10,268	10,240	11,498	10,595	11,684	10,820	10,003	8,314	9,261	10,012	10,529	9,958

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標(kg-CO ₂)	○	【目標達成】 通期で板金塗装の仕事が減少したものの、空調設備・塗装ブースの最適な温度管理は通年徹底でき使用量は減少。 【次年度の計画】 引き続き空調設備や塗装ブースの最適温度管理を徹底。
・室内空調機(ガス式)の温度管理	○	
・温水使用の適正化	○	

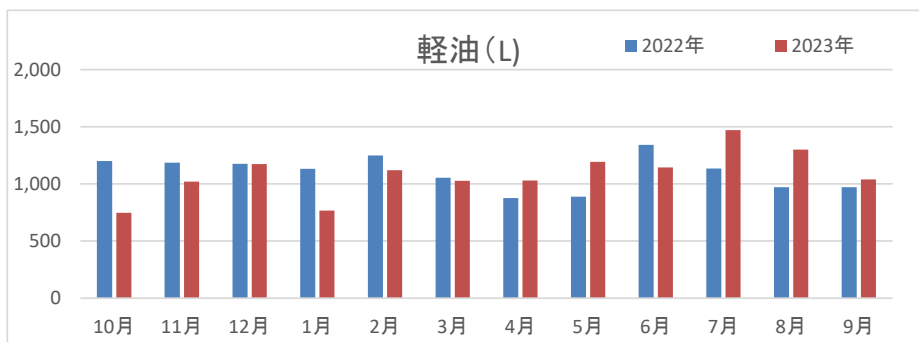


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	1,042	510	1,045	1,720	1,682	1,460	658	474	408	769	1,155	1,301
2023年	1,101	398	941	1,202	1,309	1,319	1,051	542	489	833	1,298	1,202

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標(kg-CO ₂)	○	【目標達成】
・アイドリングストップ	○	板金・塗装作業量の減少もあり、代車の提供も減少し計画達成。
・引取、納車効率的なルートで走る。	○	【次年度計画】
・代車の空気圧チェックの徹底	○	お客様に対し、車両返却時の満タン返しと当社社員の納車引取時のエコドライブの徹底。

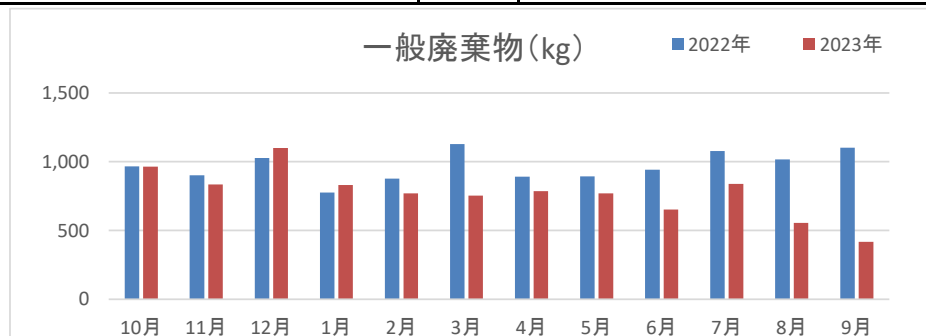


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	1,373	1,006	1,272	1,194	1,445	2,577	1,086	1,176	1,424	1,614	1,316	1,139
2023年	1,167	1,211	1,016	924	1,030	1,217	969	833	949	1,081	1,397	1,339



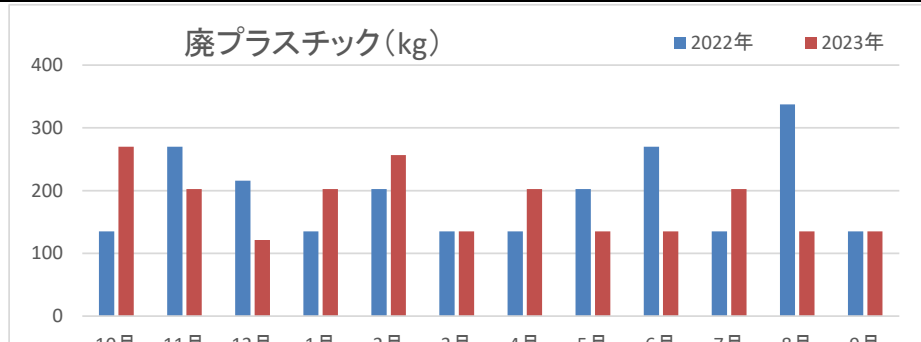
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	1,200	1,185	1,176	1,133	1,249	1,055	875	888	1,343	1,135	972	971
2023年	747	1,020	1,174	766	1,121	1,026	1,031	1,192	1,144	1,472	1,301	1,040

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【目標達成】
・分別の徹底	○	機械等のリサイクル業者と取引開始、リサイクル活動が推進できた。
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	【次年度計画】
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	保護カバーや梱包段ボールの再利用、リサイクル業者活用の徹底



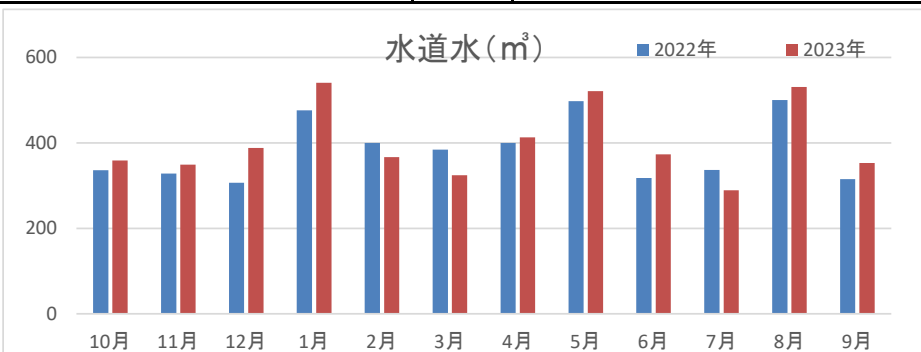
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	967	902	1,027	777	877	1,128	892	894	942	1,079	1,017	1,103
2023年	965	834	1,101	831	770	754	786	771	652	838	555	418

廃プラの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【目標達成】
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	外装関係のリサイクルパーツの推進を積極的に対応。
・バンパー修理は補修を勧める	○	【次年度計画】
・リサイクル部品使用を勧める	○	お客様に対しリサイクルパーツの使用の提案を引続き継続。



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	135	270	216	135	203	135	135	203	270	135	338	135
2023年	270	203	122	203	257	135	203	135	135	203	135	135

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【目標未達】
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	コロナ5類移行により、マイカー利用が増え、コイン洗車場の使用量も増加
・節水弁取り付け	○	【次年度計画】
・自動水栓取り付け	○	代車・レンタカーの2度洗に注意
・トイレに擬音装置取り付け	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	336	328	307	476	400	384	400	498	318	337	500	315
2023年	359	349	388	541	367	324	413	521	373	289	531	353

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・シンナー他の適正管理	○	スタッフ全員が管理意識をもった状況を維持継続。熟練工からの技術継承により、使用料の最適化を若手スタッフに承継
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	【次年度目標】
・パーツクリーナー使用量の適正化	○	適性塗膜の意識向上



代車のエコカー比率向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【目標達成】
・ハイブリッドおよび低燃費車をエコカーとする	○	121台保有の内エコカー低燃費車76台(62%)
・乗用車の代車はエコカー使用を優先	○	ハイブリッド車両を最優先に貸し出し、次にクリーンディーゼル車と優先順位を取り決め、エコアクションをスタッフ全員に共有。
		【次年度目標】
		引続きハイブリッド車とクリーンディーゼル車の導入を推進する。



各事業所の取組紹介

<本社工場>

分別

節電



節水

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・処理
騒音規制法	空気圧縮機、送風機の設置
振動規制法	空気圧縮機の設置
下水道法	洗浄設備の設置
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・エアドライヤー・スポットクーラー
労働安全衛生法	塗装ブースの管理
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

・外部から、環境上の苦情はありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 人命救助訓練	
■実施日： 2024/7/4	■実施場所 本社2F会議室
■参加者： 全社員	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練 AEDを使用した人命救助	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
2名の講師を招き訓練を実施、大半の社員がAEDを使用した事がなく、実りのある訓練であった。	
■実施状況の様子	本年度からAEDを設置しました！ ショールームにAED設置企業であることを表記し 地域に根付いた、人にあたたかい企業を目指します。 ⇒全社員参加のAED研修



代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年10月1日

本年度については、水道使用量のみ未達。新型コロナウイルスの感染も収まり、自動車の使用が高まる中、自動車業界では重大なコンプライアンス違反が発生、そのあおりを受け、板金、修理の入庫台数が激減。外部要因の影響を受けた結果となった。

次年度についても、引続きカーボンニュートラルやSDGsへの取組が社会的課題となっていることを踏まえ、エコアクション21を活用して、これらの課題解決に向けて全社を挙げて推進していく。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

代表取締役社長 岡田 正昭